



インクルーシブな未来を築く

文化をこえてひらく教育・多様性・地域支援のかたち

本セミナーでは、インクルーシブ教育、ウェルビーイング、文化的多様性、地域支援体制をテーマに、日本、インドネシア、カンボジア、韓国、オーストラリア、アメリカの専門家が学際的・国際的視点から議論します。特別講演では、各の制度や文化に基づくインクルージョンの現状と課題を、基調講演ではウェルビーイングや社会正義の理念と実践を紹介します。地域に根ざした教育や支援のあり方を共に考え、誰もが安心して学び、暮らせる社会を実現するためのヒントを共有します。

2025年12月21日(日) 9:30~16:30 開場:9:00

広島国際会議場(広島県広島市中区中島町1-5) & オンライン

参加無料

手話通訳・要約筆記あり

日・英同時通訳

要申込

基調講演 Keynote Speaker



公正さとコミュニケーション
～健康とウェルビーイングに果たす役割～

ヴィシュ・ヴィシュワナート
ハーバード大学(アメリカ)



障害、可視性、インクルージョン
～教育とその先のソーシャル・ジャステス～

中村 かれん
カリifornia大学バークレー校(アメリカ)



インクルーシブ教育の共創を地域から
～子ども・保護者・実践者とともに育む学びの場～

野口 晃菜
一般社団法人UNIVA(日本)



アジア太平洋地域における教員育成と
インクルーシブ教育の展望

ダイアン・チェンバース
エディスコーウン大学(オーストラリア)

講演 Speaker



「ともに生きる教育」の根拠を問い合わせ直す
～インクルーシブ教育の哲学的基盤～

丸山 恭司
広島大学(日本)

開会挨拶 Opening Remark



ビデオメッセージ
越智 光夫
広島大学 学長

清重 隆信
国立特別支援教育総合研究所 理事

パネルディスカッション Panel Discussion

アジアにおける国境をこえた協働と支援の未来を描く

特別講演 Special Lecture



オンライン登壇

プラ・アスガ・エレヴリ
インドネシア初等中等教育省
(インドネシア)



ハン・キムチョヨン
カンボジア国立特殊教育研究所
(カンボジア)



キム・ソクジン
韓国国立特殊教育院
(韓国)



対面参加・オンライン参加(Zoom)

← 申し込みはこちらから

※申込締切: 12月18日(木)正午

<https://forms.office.com/r/NZFSRmMa9U>

主 催 | 広島大学ダイバーシティ＆インクルージョン推進機構／国立特別支援教育総合研究所

共 催 | インドネシア初等中等教育省／カンボジア国立特殊教育研究所

後 援 | 内閣府(申請中)／文部科学省／広島県教育委員会／広島市教育委員会／東広島市教育委員会／NHK広島放送局／中国放送／広島テレビ／広島ホームテレビ／テレビ新広島／広島エフエム放送／中国新聞社／日本特殊教育学会／日本LD学会／ウェルビーイング学会

定 員 : 150名(会場)

お問合せ : d-and-i-event@hiroshima-u.ac.jp
(広島大学ダイバーシティ＆インクルージョン推進機構 マネジメント部門)



広 島 大 学



D&I
Diversity Includes All



独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所
NISE National Institute of Special Needs Education

プログラム Program

9:00- 9:30	受付・開場
9:30- 9:40	開会挨拶 ビデオメッセージ 広島大学 学長 越智 光夫 国立特別支援教育総合研究所 理事 清重 隆信
9:40- 9:45	趣旨説明 広島大学ダイバーシティ& インクルージョン推進機構 川合 紀宗
9:45- 10:05	特別講演 1 オンライン登壇 ブトラ・アスガ・エレヴリ
10:05- 10:25	特別講演 2 ハン・キムチヨーン
10:25- 10:45	特別講演 3 キム・ソクジン
10:45- 10:55	休憩
10:55- 11:40	基調講演 1 ヴィシュ・ヴィシュワナー
11:40- 12:25	基調講演 2 中村 かれん
12:25- 13:30	昼食休憩
13:30- 14:15	基調講演 3 野口 晃菜
14:15- 15:00	基調講演 4 ダイアン・チェンバース
15:00- 15:30	講演 1 丸山 恭司
15:30- 15:40	休憩
15:40- 16:20	パネルディスカッション 「アジアにおける国境をこえた 協働と支援の未来を描く」
16:20- 16:30	閉会挨拶 広島大学 ダイバーシティ&インクルージョン 推進機構長 鈴木 由美子

基調講演 1



ヴィシュ・ヴィシュワナー

ハーバード大学(アメリカ) T・H・チャン公衆衛生大学院 教授

公正さとコミュニケーション

～健康とウェルビーイングに果たす役割～

ヴィシュワナー教授は、コミュニケーション科学や社会疫学、社会・健康行動科学の知見に基づき、コミュニケーションの不平等、貧困、健康格差と、健康およびウェルビーイングの格差に対処するための知識の応用との関連性を探求している。

基調講演 2



中村 かれん

カリフォルニア大学パークレー校(アメリカ) 人類学部 教授

障害、可視性、インクルージョン

～教育とその先のソーシャル・ジャスティス～

中村教授は、社会人類学と映像人類学を専門として、現代日本における障害、セクシュアリティ、マイノリティによる社会運動を研究している。著書に『クレイジー・イン・ジャパン: べてるの家のエスノグラフィ』(医学書院)などがある。

基調講演 3



野口 晃菜

一般社団法人UNIVA(日本) 理事

インクルーシブ教育の共創を地域から

～子ども・保護者・実践者とともに育む学びの場～

野口博士は、学校、教育委員会、企業などと連携しインクルージョンを推進している。中央教育審議会教育課程企画特別部会委員などを務め、著書に『差別のない社会をつくるインクルーシブ教育』(学事出版)などがある。

基調講演 4



ダイアン・チェンバース

エディスコーウン大学(オーストラリア) 教育学部 国際部長・教授

アジア太平洋地域における

教員育成とインクルーシブ教育の展望

チェンバース教授は、アジア太平洋地域におけるインクルーシブ教育、支援技術、誰もが利用できるオープン教育資源、そしてサービスラーニングについて研究している。前職では広島大学特別支援教育実践センターの特任教授も務めた。

講演 1



丸山 恭司

広島大学(日本) 教育学部長・大学院人間社会科学研究科 教授

「ともに生きる教育」の根拠を問い合わせ直す

～インクルーシブ教育の哲学的基盤～

丸山教授は、教育哲学・教育倫理学を専門としている。これまでルートヴィヒ・ヴィットゲンシュタインの哲学について研究するとともに、他者性やポストコロニアリズムをキーワードに教育および教職の専門性に関する深い考察を重ねてきた。

特別講演 1



ブトラ・アスガ・エレヴリ

インドネシア初等中等教育省
(インドネシア)

特別講演 2



ハン・キムチヨーン

カンボジア国立特殊教育
研究所(カンボジア)

特別講演 3



キム・ソクジン

韓国国立特殊教育院
(韓国)